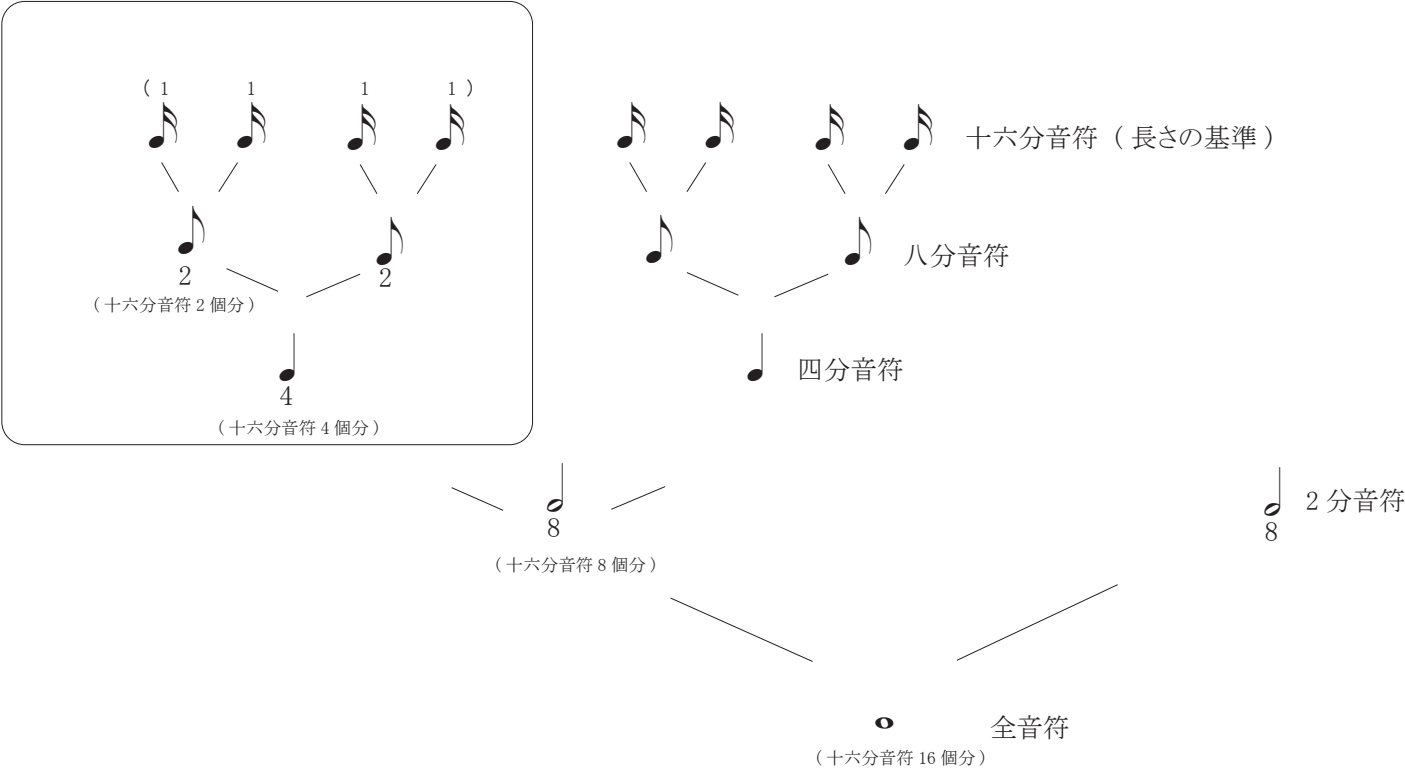


■ 音符の種類とその長さの考え方

※ DAW 環境 “での「打ち込み」を行う上での〈音符の長さ〉の理解に関しては、
つねに「十六分音符」の長さを基準にした上で、ほかの全ての音符の長さを理解するのが良いと思います。



(ただし、「十六分音符」を基準とする方法は、あくまで「DAW 環境」での「打ち込み」に特化した音符の長さの理解の仕方です。本来はむしろ逆に「全音符」を基準にします)

付点音符 (打ち込みの楽譜では、第 1 小節、第 7 小節目などに有り)

「付点音符」とは、通常の音符の横に「・」(点)がついた音符を指す。このとき付点音符に対して、付点の無い通常の音符のことを「単純音符」という。
「付点音符」は、いかなる「単純音符」に「・」(点)がつくかで、呼称がことなる。四分音符に点がつくと「付点四分音符」、二分音符に点がつくと「付点二分音符」という。「付点音符」の長さは、「単純音符」の長さ + その「単純音符」の長さの半分の長さ の合計となる。

♪ (付点四分音符) の長さは？

四分音符 (十六分音符 4 個分の長さ) + 八分音符 (十六分音符 2 個分の長さ) = 16 分音符 6 個分の長さ

♪ + ♪ = ♪.

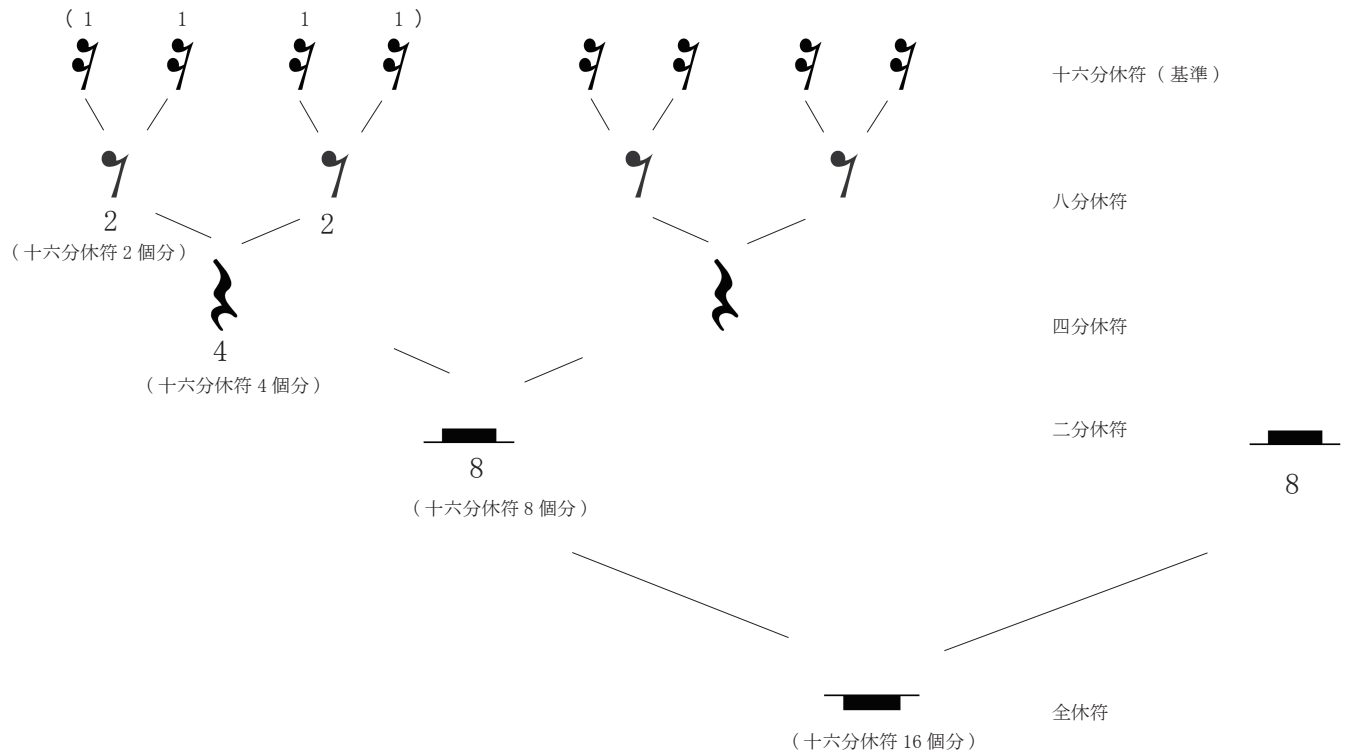
タイ tie (打ち込みの楽譜では、第 14、16、33、35 小節目にそれぞれ有り)

おなじ音高の音符同士をつなぐ、ゆるやかな曲線の記号のこと。「タイ」"tie" は英語であり、「結ぶ」というその語義のとおり、音符同士は結ばれて一つの音符として表現される。長さは「結ばれた音符同士の長さの合計の長さ」となる。実質一つの音符となるので、実際の打ち込みでは最初の音符を一つだけ打ち込んで、その音符一つを「合計の長さ」で入力するとよい。例えば、打ち込みの楽譜の第 14 小節目のタイの処理は、14 小節目の二分音符だけをうちこんで長さを 12 とする。15 小節目 1 拍目の四分音符は入力しない。

8 + 4 = 12 (実際は十六分音符 12 個分の一つの音符と同じ)

■ 休符の種類と長さの考え方

※ DAW 環境での「打ち込み」を行う上での〈休符の長さ〉の理解に関しては、
つねに「十六分休符」を基準にした上で、ほかの全ての休符の長さを理解するのが良いと思います。



(ただしこれは、あくまで「DAW 環境」での「打ち込み」に特化した休符の長さの理解の仕方です。本来はむしろ逆に「全休符」を基準に考えます)